第 2 回「ことばの宝石箱」

私の日本語学習史

関昇（ワン　ショウ）

僕は 12 年前、38 歳の時に中国黑龙江から家族で日本に来ました。初めは、日本語が全然話せませんでした。もし勉強をしなければ、日本での生活、仕事、他人との交流ができない。　だから勉強は必要不可欠だと思っています。

来日してすぐに 、身元引受人である日中友好会の会長だった中村義光さんの紹介で、友好会ボランティアが NPO センターで開催している日本語教室に通い始めました。その後、ボランティア NPO センターで毎週木曜日、長阪先生の日本語教室（楽しい Japanese）にも通いましたが、当時の派遣会社の仕事時間と合わず、行けなくなってしまいました。

2011 年の 3 月東北大地震の後、その影響を受けて五月に失業し、ハローワークに通いましたが、日本語能力、技術などの資格のない者が仕事探しをする厳しさ、難しさを改めて感じました。その時思ったのは、今の自分は力仕事をしても大丈夫だけれど、年をとったら出来ないということでした。その時、勉強は今やるしかない、と思いました。先生たちが教えてくれましたから日本語能力試験 N2 や溶接資格に合格できました。先生たちのおかげで、本当に感謝しています。

今、大手の会社で働いますが、この会社には外国人はほとんどいません。それに、日本語はまだ不十分です。次はしっかり 勉强して、日本語能力試験 N1 を目指そうと思います。